

人検知センサつき  
ポーチライト

LLBW4643H【防雨型】

このたびは日立LED照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

●この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保存してください。

**■ここに示した注意事項は**

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

**危害や損害とその程度の区分**



**警告**

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



**注意**

この表示の欄は、「傷害を負うことか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

**絵表示の例**



「警告や注意を促す」内容のものです。



してはいけない「禁止」内容のものです。



実行していただく「指示」内容のものです。

**安全上のご注意**



**警告**

- この器具は、壁面取付専用型の器具です。
- 器具の取り付け工事は、電気工事店（有資格者）に依頼する。  
\* しようと工事は危険です。また、法律で禁じられています。
- アース工事は、電気設備技術基準のD種接地工事に従って作業する。  
\* アースが不完全な場合は、感電の原因となります。
- 器具の改造、構成部品（ソケットなど）の交換はしない。  
\* 火災・感電・故障の原因となります。
- 器具のすきまに金属類（ヘアピン・針金など）を差し込まない。  
\* 感電・故障の原因となります。



**注意**

- |                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●定格電圧交流100V以外で使用しない。<br/>* 過熱し、火災の原因となります。</li> <li>●指定以外のランプは使用しない。<br/>* 器具の異常過熱の原因となります。</li> <li>●常時温度の高い場所(35°C以上)では、使用しない。<br/>* 火災・感電の原因となります。</li> <li>●点灯中および消灯直後は電球が熱くなっているので触らない。<br/>* やけどの原因となります。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●調光器では使用しない(100%点灯でも使用不可)。<br/>* 過熱し、火災の原因となります。</li> <li>●お手入れや、ランプ交換の際は、必ず電源を切る。<br/>* 電源を切らないと感電の原因となります。</li> <li>●器具の真下にストーブなどを置かない。<br/>* 過熱し、火災の原因となります。</li> <li>●器具にボールなどの物をぶつけたり、衝撃を与えない。<br/>* 器具の落下によるけがの原因となります。</li> </ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
- 照明器具には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をお勧めします。点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。

## ご使用上に関するお知らせ(このようなことにもご注意を)

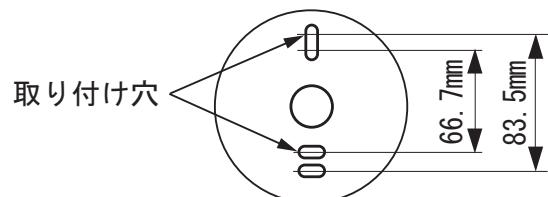
- LED素子の発光色等のバラツキなどのため、同一形式商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる、またはムラが生じる場合があります。
- 山間部や鉄筋建物など、電波の弱い地域では、ラジオや屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があります。このような場合は、ラジオや屋内アンテナを器具から離してお使いください。
- 器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、他の家電品の赤外線リモコンが動作しない場合があります。このような場合は、ラジオやテレビ、他の家電品を器具から離してお使いください。
- 温泉地などの腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。  
光学特性などに不具合が発生することがあります。

## 器具を取り付ける前に

- 器具は、本体の取り付け穴を利用して、付属の木ねじ2本で補強材のある所、または板厚3cm以上の所に取り付けてください。

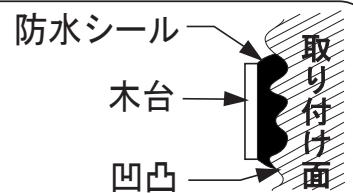


- プラスチック製アウトレットボックスには取り付けない。  
\*落下の原因となります。



- 取り付け面に凹凸がある場合は、防水性能を保つため木台を使用し、防水シールなどで木台と取り付け面とのすき間を埋める。

必ず守る

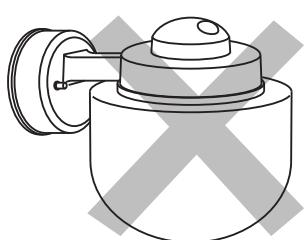


- このような場所には、取り付けないでください。

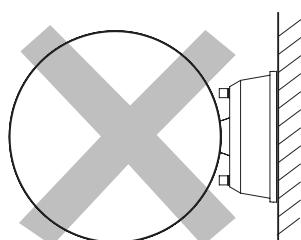


- 落下・器具破損によるけがや火災・感電の原因となります。

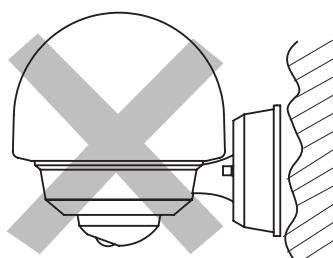
禁止



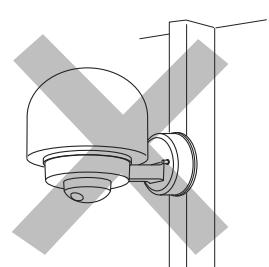
下向き取り付け



横向き取り付け



取り付け面が凸凹



取り付け面がせまい



湿度の高い所

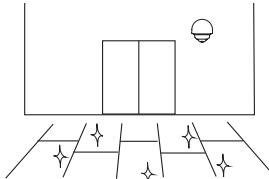
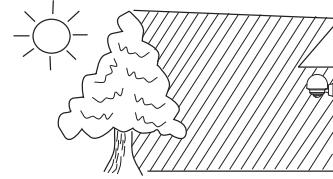
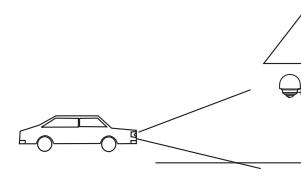
# 器具を取り付ける際のご注意

- 一つの壁スイッチには1台でご使用ください。（一つの壁スイッチで2台以上の器具を取り付けると、同時に連続点灯に切り替わらない場合があります。）
- 器具は検知エリアを考慮して設置してください。
- 次のような場所には取り付けない。（誤動作したり、動作しない場合があります。）

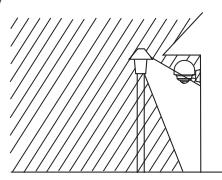
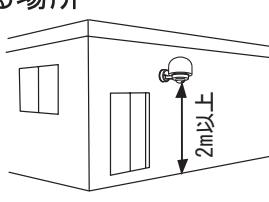
## 器具設置時のご注意

- 壁スイッチなどの電源ON・OFFの切り替え操作が出来るところで使用してください。
  - 電源を入れたまま蛍光ランプを取り付けた場合、取り付けた蛍光ランプは初期点灯しませんので、一度電源を切った後に再度電源を入れて点灯確認してください。
- \* 壁スイッチがないと…  
電源を入れたまま蛍光ランプを取り付けた場合に点灯確認ができません。  
長時間使用しない時など、電源を切ることができません。  
センサによる点灯モードに異常が発生した場合、設定状態に戻せません。

- ・この器具は、人の動きなどの温度変化を検知して点灯します。
- ・検知性能は、周囲温度・人の発熱量・移動速度などにより多少変化します。
- ・検知エリアを確認のうえ、器具を取り付けてください。
- ・誤動作の原因となりますので下記のような場所には取り付けないでください。

 禁止	大理石などの反射の強い床面がある場所	昼間でも暗い場所（木かげ、ひさしの下など）	車のヘッドライトなどの強い光が当たる場所
			

 禁止	検知エリア内に風などで揺れるのれんや植物などがある場所	夜間でも明るい場所（他の照明の光がセンサーに当たる場所）	取り付け高さが2m以上になる場所
			

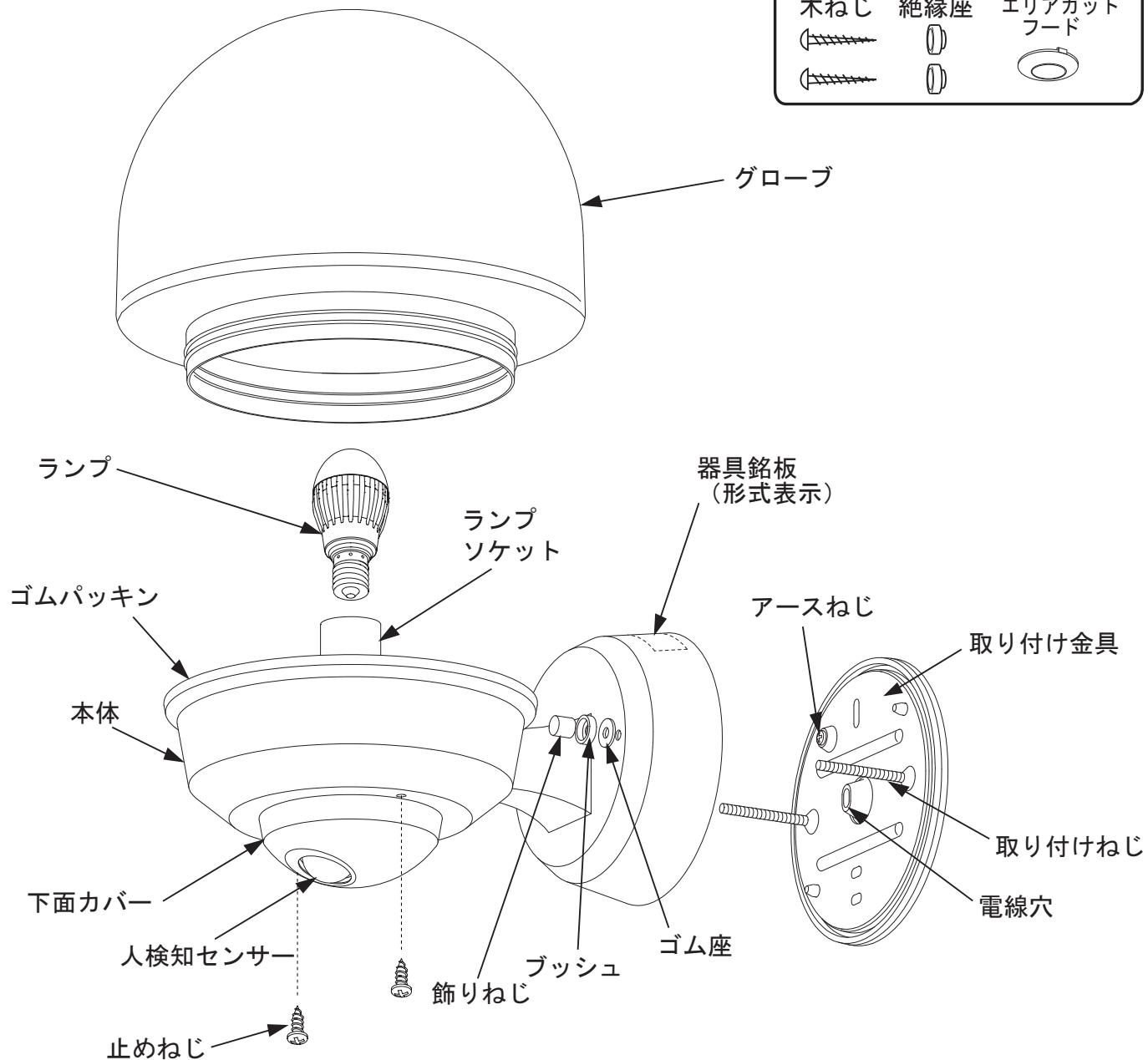
## このようなことにもご注意ください。

- ・検知エリア内に熱源や動くものがあると、人がいなくても点灯する場合があります。
- ・検知エリア内にペットなどの小動物が入っても点灯する場合があります。
- ・検知エリア内に人がいても、静止している場合などの、動きがなく温度変化がない状態では検知しません。
- ・周囲温度が高く、人と周囲の温度差が少ない場合、人が検知エリア内に入っても検知しにくい場合があります。
- ・壁スイッチにパイロットスイッチを使用した場合、スイッチをONにしても照明器具が消灯状態の時は、パイロットスイッチ表示が点灯しませんが、故障ではありません。

# 各部の名称

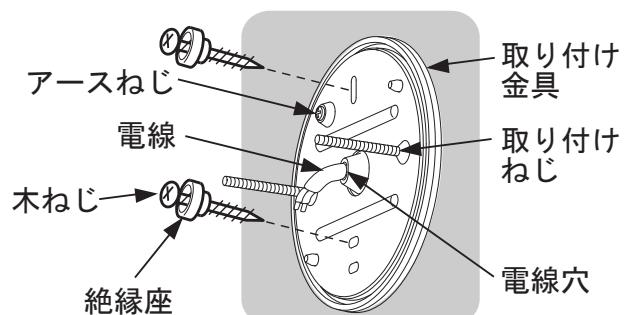
図は取り扱いを説明するため、一部省略抽象化した共通図です。

●下図を参照して、各部品をお確かめください。



## 器具の取り付けかた

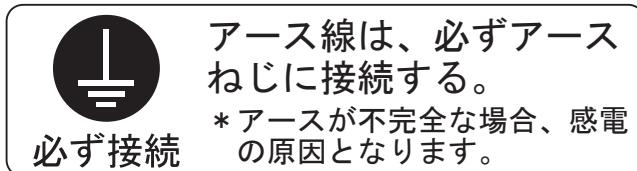
(1) アースねじの位置が上にくるように取り付け金具の方向を合わせ、電線を取り付け金具に通して、付属の木ねじ2本に絶縁座を通し、補強材のある所に取り付けてください。



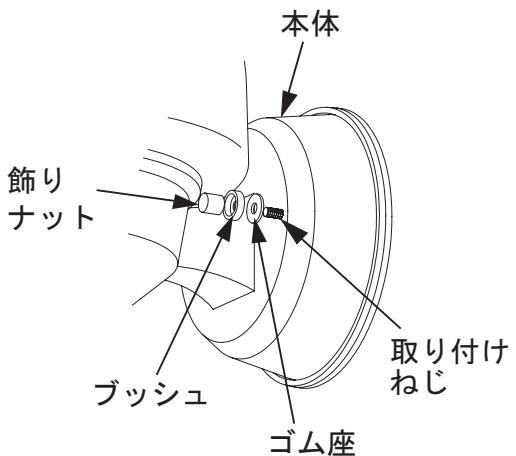
(2) 電線を速結端子に接続してください。

接続のしかた	解除のしかた
<p>●電線をゲージに合わせて段むきし、電線接続穴にしっかりと差し込んでください。</p> <p>・適用電線…<math>\phi 1.6</math>、<math>\phi 2.0</math>単線</p>	<p>●<math>\ominus</math>ドライバーで電線はずし爪を解除方向に強く押し当て、電線をひっぱってください。</p>

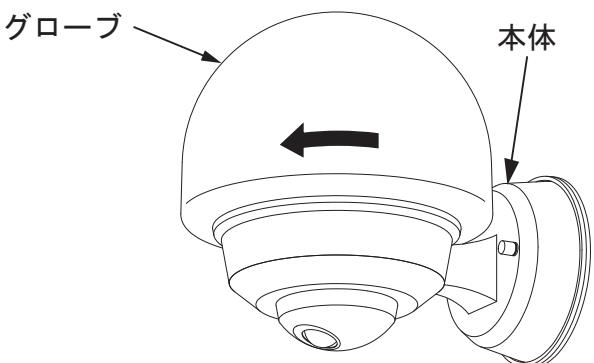
(3) アース線をアースねじに接続してください。



(4) 本体を取り付けねじに通し、ゴム座、ブッシュ、飾りナットでしっかりと締め付けてください。



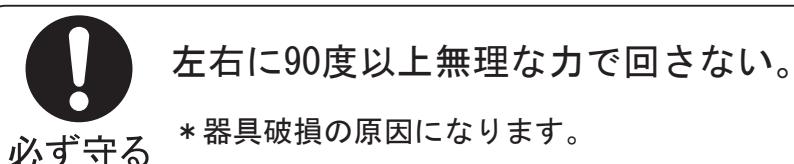
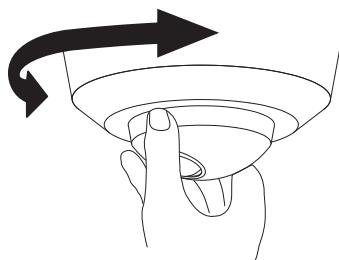
(5) ランプをランプソケットに取り付けたのち、点灯確認してください。



(7) 電源を入れ、点灯確認してください。

(8) センサ部をご使用になる位置に合わせ、検知範囲を決めてください。

(センサ部の位置は、水平方向で左右に約90度ずつ回転できます。)



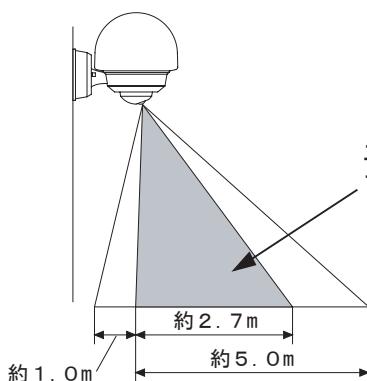
# センサについて

## ■検知範囲について

- センサはおよそ下図の範囲で検知します。図の範囲を参考に器具を取り付けてください。

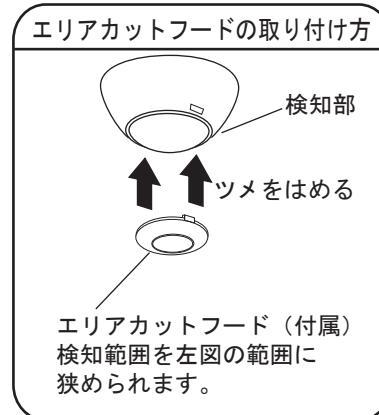
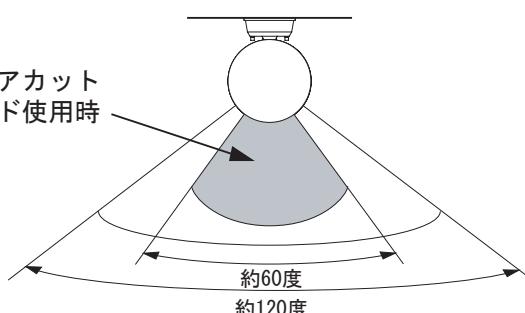
### 【検知範囲】

#### 垂直方向



#### 水平方向

※センサを中央にセットした場合。



- このセンサは人の動きなど温度変化を検知しています。次のような現象でもセンサの異常ではありません。

- ・静止している人は検知できません
- ・夏場など人体の表面と床面との温度差が小さくなると、検知範囲が小さくなります。
- ・人以外でも急激な温度変化があると、検知範囲に人がいなくても点灯する場合があります。
- ・器具中心に向かってまっすぐ近づいた場合、上記検知範囲より近づかないと検知しない場合があります。

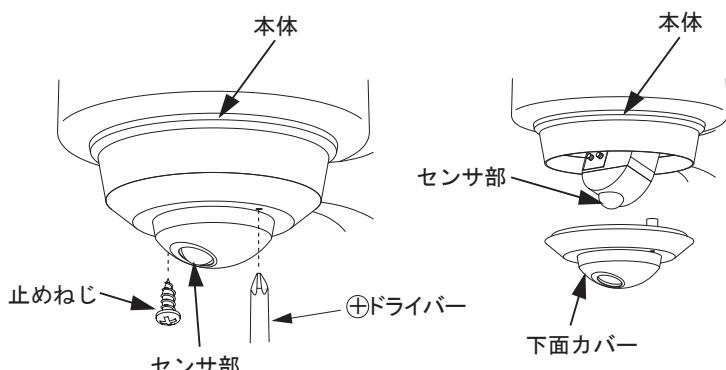
## ■センサの設定のしかた

- センサを設定する場合は、下面カバーを取りはずしてください。

①下面カバーの止めねじを、⊕ドライバーではずしてください。

②下記センサの設定の仕方を参照し、お好みの設定を行ってください。

③設定が済みましたら、センサ部に下面カバーを取り付け、止めねじをしっかりと止めてください。

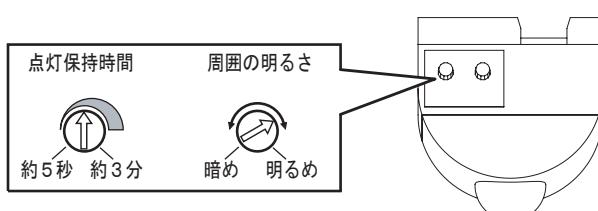


- 調整ツマミを使用状態にセットしてください。

調整ツマミをまわし、人を検知はじめる明るさ、点灯保持時間を設定してください。

### 点灯保持時間調整ツマミ

人が検知範囲からなくなる、または静止してからの点灯保持時間を調整できます。



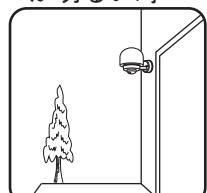
### 点灯する周囲の明るさ調整ツマミ

人を検知はじめる明るさを調整できます。

※「明るめ」側にまわすと、明るい時でも人が検知範囲に入ると、点灯します。

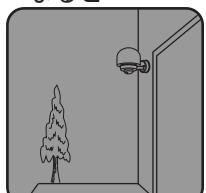
#### 点滅動作

設定より周囲が明るい時



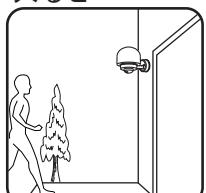
消灯

設定より暗くなると



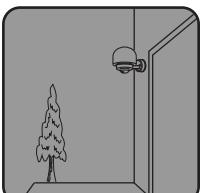
消灯のまま

人が検知範囲に入ると



点灯

人がいなくなると



消灯

## お困りのときは

- センサの動作に異常があると思われる場合、一度壁スイッチをOFFにし、5秒以上待ってからONにしてください。正常に戻らない場合、下記を参考に点検してください。

現象	原因	対策	参照ページ
検知範囲に人がいるのに点灯しない	壁スイッチの電源が入っていない	壁スイッチの電源をONにしてください	—
	周囲の明るさが、調整ツマミで設定した明るさより、明るい	点灯する周囲の明るさ調整ツマミを「明るめ」側（右方向）に少しまわす	6
	ランプがランプソケットに正常に取り付いていない	ランプソケットに確実に取り付ける	5
	ランプが切れている	新しい蛍光ランプと交換してください	8
検知範囲に人がいないのに点灯する	検知範囲内に、人以外の熱源や動くものがある (例) ・白熱灯照明器具 ・風などでよくゆれるもの (カーテン・樹木など) ・太陽光	本センサは、温度変化を検知するため、人以外の熱源でもセンサが反応することがありますが、故障ではありません 熱源や動くものを検知範囲外に出すか、エリアカットフードを使用して、検知範囲を狭めてください	3 6
	壁スイッチの電源を入れた直後、または停電復帰直後	設定時間後消灯することを確認してください	6
検知しにくい	検知範囲が適切でない (エリアカットフードがついている)	検知範囲を調整する (エリアカットフードをはずす)	6
	検知部が汚れていたり、水滴がついている	検知部を傷つけないように柔らかい布で拭き取る	—
	周囲温度が高く、人体との温度差が少ない	本センサは温度変化を検知するため、温度差が少ないと検知しにくいことがあります	—
人がいなくなつてもなかなか消灯しない	点灯保持時間が長く設定されている	点灯保持時間調整ツマミを左にまわし、時間設定を変更する	6
周囲が明るいのに点灯する。	周囲の明るさ調整ツマミが「明るめ」になっている	点灯する周囲の明るさ調整ツマミを「暗め」側（左方向）にまわす	6
検知範囲に人がいるのに消灯する	人が静止している	静止している人は検知できません	—

\*なお、処置を行なっても同じ現象が続く場合は直ちに電源を切り、お買い上げの販売店に器具の形式(器具銘板に表示)、現象を連絡のうえご相談ください。

# 保守とお手入れ

常に明るくご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。

■お手入れの際や、  
ランプ交換の際は  
必ず電源を切る。



必ず守る

\* 電源を切らないと感電の原因となります。

■器具のお手入れ



必ず守る

●器具が虫やほこりなどで汚れた  
たら、乾いた柔らかい布で軽くはたきおとす。汚れが落ちない場合は、柔らかい布に石けん水を浸してよくしぼったのちふき取り、乾いた布で仕上げる。

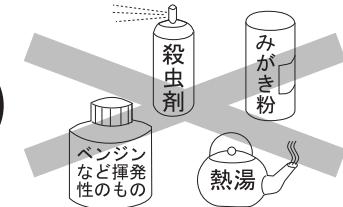
\* 石けんとは天然油脂を原料としたものです。  
(商品表示が“石けん”であることを確認してください。)

■みがき粉やベンジンなどで  
ふいたり熱湯や殺虫剤を  
かけない。

\*傷、変色の原因となります。



禁止



■必ず指定のランプを使用する。



\* 指定以外のランプを使用しますと、  
器具の異常過熱などにより、  
火災の原因となります。

必ず守る

日立LED電球



白熱灯および  
電球形蛍光灯は  
使用できません。



同じ種類で光色の異なるランプは使用できます。

■点灯中および消灯直後は、  
ランプが熱くなっている  
ので触らない。



接触禁止



## 仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では  
使用できません。また、アフターサービスもできません。

形式	仕様	定格電圧	周波数	定格消費電力	入力電流	同梱ランプ
LLBW4643H		交流100V	50/60Hz 共用	7.0W	0.115A	日立LED電球(口金:E17) LDA7L-G-E17/S

## アフターサービス

\* 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、異常状態がおさまったことを確認してから、お買い上げの販売店に、器具の形式(器具銘板に表示)、現象を連絡のうえご相談ください。

お客様メモ 後日のために記入しておいてください。

サービスを依頼されるときにお役にたちます。 電話

購入店名

ご購入年月日

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は  
エコーセンターへ

TEL 0120-3121-68  
FAX 0120-3121-87

(受付時間)(月~土曜日)9:00~19:00、(日曜日/祝日)9:00~17:30  
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は  
お客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11  
FAX 0120-3121-34

(受付時間)9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)  
年末年始は休ませていただきます。  
携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターを紹介させていただきます。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

 日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12  
電話(03)3502-2111